



## プラットフォームが異なると、グループワークにおけるインタラクションの質や不安感は変化するのか？

わたしたちは、オンライン授業の質の改善について研究しています。

この研究では、大学生を対象に、特徴の異なる2種類のビデオ会議ツールを利用したグループワークを行います。研究の目的は、参加者が感じる授業への印象や抵抗感を、[障害の有無] や [ツールの種類] ごとに比較することで、多様な参加者を前提としたオンライン授業の実施に役立つビデオ会議ツールの特徴を検討することです。

- ◆ 実験参加中は、常に Web カメラをオフにさせていただきます。
- ◆ 実験参加中は、本名をご使用いただく必要はありません。
- ◆ 参加状況に応じて、謝礼をお支払いします。
- ◆ 実験前に各プラットフォームの使い方をご説明いたしますので、プラットフォームの利用経験が無い方にもご参加いただけます。

全国どこからでも  
オンラインで  
ご参加いただけます

詳細は裏面へ ▶

ご質問等、お気軽にご連絡ください。

研究責任者：佐々木銀河（筑波大学人間系 准教授）

連絡先：sgalaxy#@#human.tsukuba.ac.jp

研究分担者：岸良隼人（筑波大学大学院）

連絡先：s2221304#@#u.tsukuba.ac.jp

※メールアドレスの#は削除してください。

ご参加いただける方は、募集フォームへのご入力をお願いいたします。

※回答の目安はおおよそ15分程度です。

募集フォーム

<https://forms.gle/9nEFvJmCeVbxzEj6>

9月30日（土）まで





## ■ 対象者

精神障害もしくは自閉スペクトラム症のある大学生（学部生）

30 名程度

障害のない大学生（学部生）

30 名程度

※抽選となる場合がございます。

※ご回答いただいた方には、数日以内にメールで日程等をご連絡いたします。



## ■ 実験の内容

すべてオンラインで実施いたします。

授業前・授業後のアンケート ..... 10 分程度

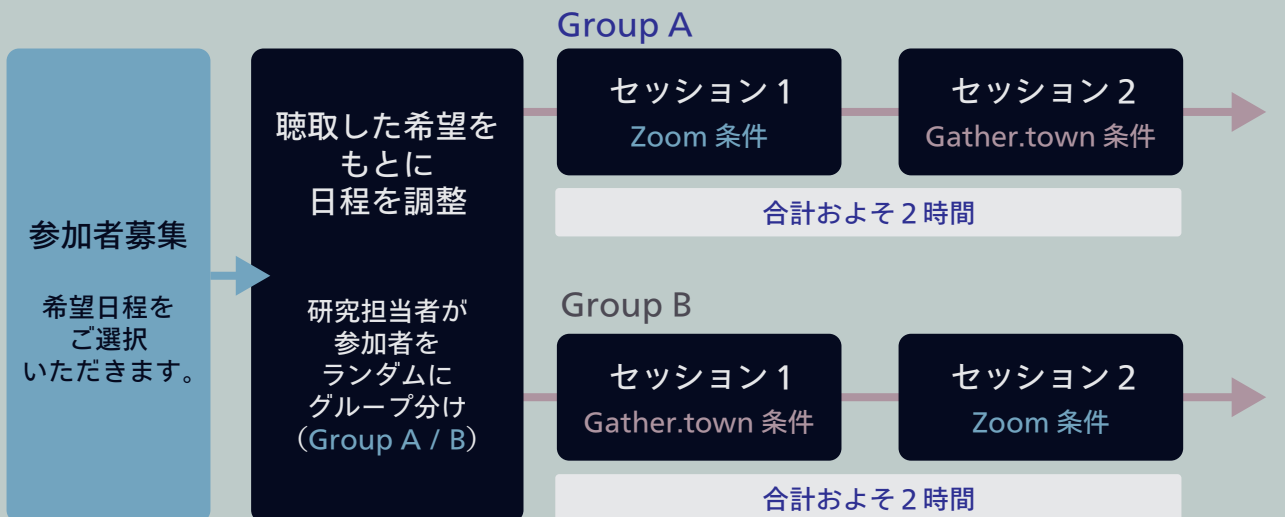
授業前や授業後に、授業に関するアンケートへ回答していただきます（計4回）。

模擬授業（Zoom 条件） ..... 40 分程度

Zoom を利用して、研究倫理に関する講義動画を視聴いただいたのち、小グループに分かれたディスカッション（10 分程度）を行なっていただきます。

模擬授業（Gather.town 条件） ..... 40 分程度

Gather.town を利用して、研究倫理に関する講義動画を視聴いただいたのち、小グループに分かれたディスカッション（10 分程度）を行なっていただきます。



※日程調整の状況に応じて、各グループを複数の日程で実施する可能性があります。



## ■ 謝礼

3,500 円

※Amazon ギフト券をメールで送付いたします。

※全ての日程にご参加いただいた場合に限りまして、ご承知おきください。

お気軽にご参加ください！



募集フォーム  
<https://forms.gle/9nEFvJjmCeVbxzEj6>

9月30日（土）まで

